

遺伝性のがんを血液で調べる検査

遺伝性のがんの遺伝子検査

VistaSeq[®]

ビスタシーク

検査の目的	遺伝性のがんの原因となる遺伝子の変化について調べる
わかること	がんになりやすい遺伝的な要因を持っているかどうか
保険について	保険は適用されず自費診療
必要な検体	血液

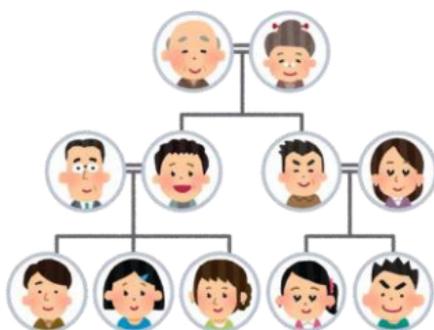
この検査を受ける前には、
必ず、医師にご相談の上、
遺伝カウンセリングを受けてください

遺伝性のがんとは？

ご家族ご親戚の中にがんを発症した方が複数人いて、自分はがん家系かもしれないと心配されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

がんの原因は食生活や喫煙習慣などの場合もありますが、なかにはがんの発症リスクを高める遺伝子を祖先から受け継いでいる場合もあります。

このような生まれつきの遺伝子が原因で引き起こされるがんを「遺伝性のがん」といいます。



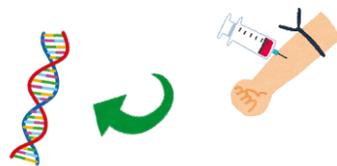
・主な遺伝性のがん

乳がん、卵巣がん、子宮体がん
前立腺がん、腎臓がん、膀胱がん
大腸がん、膵臓がん、胃がん
皮膚がん、脳のがん、喉のがん
内分泌系のがん

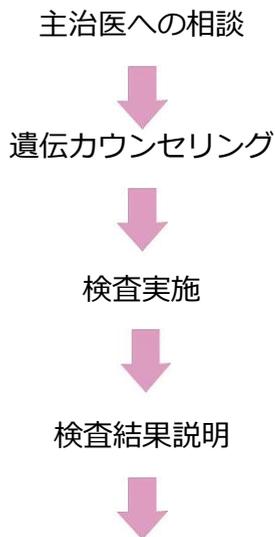
上記のがんの一部は遺伝性のがんであることがわかっています。遺伝性のがんの場合、例えば乳がんを発症して治療したあと、新たに乳がんを発症したり、卵巣がんも発症するなど、違う種類のがんを発症することもあります。

検査の内容は？

本検査は採血のみで行われます。採取した血液からDNAを抽出し、遺伝性のがんと関連が知られている複数の遺伝子を同時に調べます。遺伝子の変化の有無でがんになりやすい遺伝的な要因を持っているかどうかを判断します。



検査までの手順は？



得られた検査結果をもとに、あなたやあなたの家族にとって早期発見のために必要な検診や検査、あるいはがんになるリスクを減らすための医療や予防策を考えることができます。

公的医療保険（健康保険）は適用できますか？

自費診療になり、公的医療保険（健康保険）は適用されません。

検査の費用は？

主治医にご相談ください。

どのような人が対象の検査ですか？

遺伝性のがんを疑うケースは様々ですが、
下記のような方がご自身含め血縁者にいる場合、
遺伝性のがんの可能性が上昇します。

3人以上の方ががん
を発症

転移や再発ではない
原発性のがんを一人
で2回以上発症

乳房や腎臓などの
臓器の両方にごがん
を発症

男性乳がんなど性別
によって発症しにくい
はずのがんを発症

目安として50歳未満の
若年でがんを発症

検査後の健康管理はどうしますか？

遺伝性のがんの可能性があることがわかった場合、
次の項目について、考えることができます。



- ・ より精密ながん検診の受診
- ・ 一般よりも早い年齢からのがん定期検診
- ・ 予防のための手術の必要性
- ・ 血縁者のリスクについての検討



詳細は中面をご覧ください

検査の詳細は弊社HPをご覧ください

下記のQRコードからアクセスできます



<http://www.labcorp.co.jp/general/vistaseq.html>

検査の前後には、必ず医師に相談し、
遺伝カウンセリングを受けてください。

医療機関名